



東京金山会通信 No.67



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます

山形県人東京連合会総会が開催されました

9月23日、山形県人東京連合会総会「やまがた県人まつり」が、都内のホテルニューオータニで開催されました。今年度より東京金山会は、山形県人東京連合会の直接加盟団体となり、本総会には高橋会長の他、10名が出席しました。

第1部の総会では、山形県人東京連合会 石澤会長のあいさつに続き、山形県平山副知事から今年7月25日からの豪雨災害と復旧活動についての報告と、県人会をはじめ様々な復旧支援へのお礼の言葉がありました。また、「東北農林専門職大学」が43名の新生を迎え開学したことや、さくらんぼの栽培開始から来年で150周年を迎える事にちなんだ県産フルーツの積極的な魅力発信の取組、ラーメン・そば王国としての魅力発信と観光誘客の推進、デビュー15周年を迎えたブランド米「つや姫」のさらなるPRについて紹介がありました。

第2部の「県人まつり」では「花笠パレード」による盛大なオープニングセレモニーや歌謡ショー、舞踊のプログラムが展開され、ふるさとの空気が包む会場では、活発なコミュニケーションが行われ、年1回の貴重な情報交流の場となりました。

東京金山会でも、在京の各ふるさと会などと協力しながら「ふるさと山形」の魅力発信の取組をしっかりと応援していきたいと思えます。



◀在京加盟団体から昨年以上の多数の参加がありました。



盛大に行われた「県人まつり」花笠パレード▶

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 mail: fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

ぶんげい

金山杉俳句会報 第四九二回

秋澄むや若き風呼ぶ杉の町
老杉の懐深き蔓龍胆 阿部 一代

町制の百年寿ぐ豊の秋
星数多花火の欠片そのひとつ 星川 キエ子

碧天に百年祝ふ秋清か
金山路神室の山並赤く映え 岸 昭子

百年の時空を寿ぐ杉の町
月白の朝明涼しや虫の声 高橋 洋子

子蟻猫に鎌振るしくさかな
常緑四季の移ろひ秋の声 鶴沼 よし子

館山に頭を垂るる稲を刈る
子守柿旅路へよぎる山頭火 栗田 弥超

かねやま紅風会

ひたひたと八十の坂越す秋の風
病い知る元氣何より先ず一步 強風を受けても耐へる稲姿 荒屋 阿部 勝子

寂しさや雨の音きく秋の夜
人知れず快気を願ふ月明かり 秋月の黄泉に旅立つ兄の影 荒屋 関 喜美子

敬老の亡母徳ふ秋彼岸
枝豆やはじいて嘔んでほの香り 秋深む湯舟に浸る安堵かな 菅越 庄司 けみ子

両袖に萩の群れ咲く仁王門
群わて咲く葉見ず花見ず蔓殊沙華 錦秋を待たずに姉の黄泉路かな 七日町 青柳 キエ子

秋天の出羽富士仰ぐ三坂山
北進へ伸びる高速里の秋 豊穰を祝ふ米寿の感謝状 上台 阿部 一步

森の子ども図書

No.226



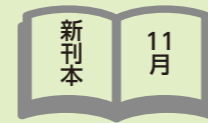
ふゆってどんなどころなの？

作：工藤ノリコ

「お父さん、冬ってどんなどころ？」「冬はとってもお腹が減るところ。春がくるまで、おやすみ。」暖かくして眠った子ぐま3姉弟。ところが、冬を見たくてたまらなかったせいか、冬眠の途中で目が覚めてしまった。窓から見る初めての冬は、とっても美味しそうで・・・？？夢いっぱい冬景色が楽しい絵本。おやすみ前にぴったり。

交流サロンぽすと

月～金 12時30分～17時30分まで
※12・1・2月は17時閉館
※祝・盆・正月は休み



※()内作者名

◀今月は7冊！▶

怖い間取り (松原タニシ) / わたしの知る花 (町田そのこ) / ツミデミック (一穂ミチ) / 戦国人物伝 最上義光 (加来耕三) / 消費される階級 (酒井順子) / 糖質疲労 (山田悟) / 0～6歳まで一緒に作れる！もっと楽しく学べる手作りおもちゃ (あん)

図書室だより

怖い間取り

松原タニシ / 二見書房

「事故物件」。それは、土地や建物、アパート等で、何らかの原因により前居住者が死亡した経歴のものを指す。事故物件住みまです芸人が生活してきた事故物件での体験談、実際に事故物件に住んでいた方に取材した話、怪奇現象が起る出来事などを、間取り・写真付きで紹介しています。映画化し大ヒット！



消費される階級

酒井順子 / 集英社

「差別などを無くして、様々な違いを持つ人々が全て横並びで生きていきましょう」となった昨今。表面上では消えたように見えるものの、姿を変えた凸凹は未だ世の中のあちこちに。貧困差別やジェンダー差別など、まだ問題が山積み。タイトルは固く見えるが、内容は皆さんが知っていることを酒井順子さん流に分析。



【図書コーナー】 金山町中央公民館内 9時～17時

協力隊復帰しました！



◀mama's CircleのInstagram

金山町 地域おこし協力隊

集落支援員 本間 真生

お久しぶりです。育休をあげて8月23日から仕事復帰した、協力隊の本間です。結婚・出産を経て現在は家族3人で金山町に暮らしています。金山で1年間子育てをしてみても大変な事もありましたが、とても楽しかったです。子育て支援センターに遊びに行ったり、森の子ども図書に行ったり、お茶飲みしに行ったり、ものづくりをしたり、遊びに行ける場所、おしやりりできる場所が何個もあり、子どもの成長と一緒に楽しみながら見ることができている子育てしやすい町だと感じました。子育て支援センターでは、ベビーマッサージやわらべ歌、お母さん体操など定期的に集まれるイベントがありました。ハイハイが出来るようになったら、毎日のように通いました。他の自治体の支援センターは遊ばせるだけで終わるのですが、金山町の子育て支援センターはスタッフの方が必ず声をかけてくださり、子どもと遊んでくれ、ママにも「最近どげや」と話を聞いてくれることが、1人で子育てしている感じではなく、見守ってもらえてありがたかったです。そして、mama's Circleが再始動することです。



▶第一回ママカフェの様子

クルに入って活動を始めました。移住した身としては繋がりが薄かったママたちと繋がって仲良くなれたら嬉しいなと思っています。9月の第一回ママカフェでは、ママ12人、子ども10人の計22人でわいわいとお菓子とお茶を飲みながらおしゃべりしました。育児の悩み相談や、話し相手が見つかったママさんの気持ちもあり、当日はしゃべり尽きなかったです。最初は緊張していましたが、最後は笑顔でした！これからもママカフェ、そして11月16日にはおさがり交換をする予定です。ご興味あればぜひご参加ください。今後は観光の事業と子育てのこともやっていけたらと思っています。協力隊の任期が残り約5ヶ月。頑張っていきたいと思っています。他にも子育てで楽しかったことは「やんばい」で発信予定です！